

A1. AfCFTAについて

AUアジェンダ2063の旗艦プロジェクトの1つであり、主な目的は以下のとおり



- (1) アフリカ域内での人や資本の自由な移動を促進
- (2) 商品やサービスの単一市場を創設
- (3) AU加盟国および地域経済共同体(RECs)の連携強化と効率化を実現
- (4) 将来のアフリカ大陸関税同盟設立のための準備
- (5) AU加盟国における持続可能かつ包括的な社会経済発展、男女平等、構造改革を促進
- (6) 地域バリューチェーンの開発、農業開発、食料安全保障を通じて産業の発展を促進
- (7) 地域および大陸の経済統合プロセスを迅速化

A2. AfCFTAの運営体制

AUによる監督の下、AfCFTA事務局(Secretariat)が以下の取組を推進



- (1) AfCFTA域内統合に係る作業計画と年間予算策定
- (2) 政府首脳やRECsとの調整や実施プロセスの監視と評価、
- (3) 常駐する法務、経済政策立案などの専門家によるスムーズな執行支援

AfCFTAの協定内容はフェーズを分けて協議中 *右図参照

- (1) 物品貿易には通関や、非関税障壁、原産地規則などが、サービス貿易には最恵国待遇例外や航空輸送などが含まれ、ほぼ合意済
- (2) 電子商取引は採択見込みであるが、投資や知的財産取引などは現在も協議中

物品貿易(本文合意済)
サービス貿易(本文合意済)
紛争貿易(本文合意済)
競争(本文採択中)
電子商取引(本文採択中)
投資(交渉中)
女性と若者(交渉中)
知的財産引(交渉中)

B1. AfCFTAの現状

AU加盟国・地域の参加状況は以下のとおり *2026年1月時点

- (1) AfCFTA設立協定には**54 / 55カ国・地域が署名済**(エリトリアのみ未署名)
- (2) 上記署名国のうち、**50 / 54カ国・地域が批准書を寄託済**
- (3) 2021年から運用開始し、2022年7月から8カ国で**パイロットフェーズにて検証実施**(特定の品目にてAfCFTAルール適用)
- (4) 2024年には**35カ国へ展開し、同年AU総会にて自動車、農業、農産物加工、医薬品、運輸、物流を優先セクターとして位置付け**

B2. AfCFTAの課題と支援

AfCFTAによる地域統合と高度な運用実現までの課題は存在

- (1) AfCFTAと既存RECs内関税率の適用ルールは未整理
- (2) 原産地規則では**主な3分野(繊維・自動車・製糖)**が未合意
- (3) スムーズな運用を支えるインフラが未整備
(**道路、電力供給網、人材育成や社会の安定等**)

円滑運用のための日本の協力

- (1) **ワンストップボーダーポスト**の導入・運用を11カ国・14か所にて実施
- (2) 2022年AfCFTA事務局とJICA間で協力推進のための業務連携協定を締結

